



芳賀町学校運営協議会だより

ともに歩む

No.5 R7.11.5



ホームページ

～ひとづくりはまちづくり　まちづくりはひとづくり～



## シェアスペースWEL、石橋複合施設視察

～世代間の交流と居場所づくり～

9月19日(金)に、6月の研修会でご講演いただいたNPO法人青ニ才代表理事の鈴木祐磨さんを中心に運営するシェアスペース WEL と、下野市石橋複合施設の視察をしました。テーマは「居場所づくり」です。

**石橋複合施設**は3年前に完成した公民館と児童館が一体化した施設です。石橋駅から900mと程近く、近隣には石橋高校があります。エントランスはもちろん、ミーティングスペース、グループ学習スペース、学習室が無料で利用でき、中高生だけでなく大人の居場所にもなっており、子ども、学生、子育て世代、高齢者が同じ空間で活動することで世代間の交流を図っているそうです。

**公民館**は午前9時から午後9時まで利用できます。食事を調達することで一日中滞在できるように敷地内に大型ドラッグストアを誘致したそうで、高校生が下校途中に学習しながら迎えを待つことができるなど、立地を活かした施設です。



石橋公民館



石橋児童館

**児童館**は午前9時から午後5時まで親子で利用できます。0歳から18歳までが対象で、中高生が子どもたちの遊び相手になることもあるそうです。

このように、複合施設は0歳から高齢者まで全ての市民が利用できるようにすることで、幅広い年齢の市民が交流する機会を提供しているそうです。

**シェアスペースWEL**は、昨年石橋複合施設の近くにオープンしました。午後8時まで営業しており、駄菓子屋、コーヒーショップ、BOXフリマ、シェアスペースからなります。出店DAYにはキッチンカーも来ます。これらの定期的な収入が維持費の一部となっていますが、これだけでは厳しいそうです。

コンセプトは日々のストレスから解放するため、「なりたい自分になれる場所」「その日の気分で居られる場所」であり、サードプレイス(第三の居場所)を提供しています。誰もが自由に入り出しき、自ら望んでその場所に行き、無理に滞在する必要もない場所です。仕事や勉強、交流の場として利用できる無料のシェアスペースがあるから居やすいのだそうです。

活動はあくまでも市民の「居場所」を作ることだそうで、さらに、自分らしく過ごせるこの街に誇りをもち好きになってくれればよい。いろいろな人と日常的に触れ合うことで自然に緩やかな多世代のつながりが生まれればなおさらだそうです。居場所を提供し自ずとつながるのを待つ。考え方が「何にもしない合宿」と似ています。



シェアスペースWEL

## 参加された方の意見・感想



### 学校運営協議会委員・芳賀北小ボランティアコーディネーター 岩村智織 さん



石橋公民館は児童館も併設されており、全世代を集めための工夫がいろいろされていること、隣にドラッグストアがあることもよく考えられているなど感心しました。

シェアスペース WEL では、設立の経緯や理念など詳しく伺えて、私設のスペースならではの自由な取り組み、利益を出して継続する難しさなど、大変参考になりました。

今回お忙しい中企画実施して下さった、生涯学習課の皆様には本当に感謝です。ありがとうございました！

### 芳賀南小ボランティアコーディネーター 広田マリ子 さん

石橋公民館・児童館は、子育て支援センターからお年寄りまで自由に交流できる場があるのでいいなーと思いました。今どのような施設が求められているか、住民の思いをとらえていたと感じました。児童の放課後の居場所として児童館もあり、近隣市町では珍しかったです。



石橋児童館

### 学校運営協議会委員 渡辺 信夫 さん



シェアスペース

民間の居場所は、公的にはできないことをやっていて、ユニークで素晴らしい。

さて、芳賀町には何が必要で、何ができるのでしょうか？

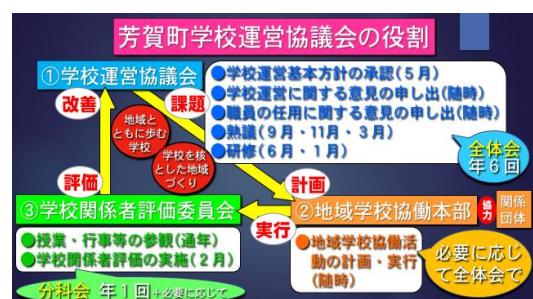
人、物、金の工面ができないと難しい。来てもらえる場所、担ってもらえる人材、年金生活者といえども場所の光熱水費が確保できないと。また、現役世代なら生活費も確保できないとね。難しいけど、町が設置してボランティアで運営かな？

## 学校運営協議会 Q&A

Q2 学校運営協議会はどんな活動をしているのですか？

A② 今回は、前回に引き続き②地域学校協働本部の役割について説明します。

学校運営協議会で話し合われた地域や学校運営上の課題と解決策を形にします。それを地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う地域学校協働活動に発展させます。こうして「明日の芳賀町を担う子供たちの育成」を目的とした地域による学校支援活動や学校による地域支援活動を支えていきます。その際に必要となる地域の教材・組織・人財と学校を結びつけているのが、地域のボランティアコーディネーターと学校の地域連携教員です。芳賀町では、こうしてコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進しています。



発行 芳賀町学校運営協議会事務局（芳賀町民会館内） 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井 548-1

☎ 028-677-0009 fax 028-677-4918

E-mail [syougai\\_gakusyuu@town.tochigi-haga.lg.jp](mailto:syougai_gakusyuu@town.tochigi-haga.lg.jp)

